

聖誕節
メッセージ



ルカによる福音書2・8・14

総会 会長 崔正剛

闇を照らすひかり

と自分自身で責任を持たなくてはならない。とくに神に對して、この世に對して、教会として、信仰者として発言しなくてはならないからだ。

イエス・キリストの御聖誕を迎え、「信仰に生きる」と告白している私たちに、いつも迫り来る問いは、「イエスを誰であると告白するのか」「どう生きるのか」というものである。「闇を照らすひかり」と、私たちはその問いに答える。私たちは自分の発言には、きちんと

している。歴史的に、教会は「力」の支配に對して、信仰告白をし、生きてきた。これからは、「信仰告白」をし続けることが必要だ。それは、「乙女マリアよ、生まれたもうた」小さな「いのち」であるイエス・キリストが、真の平和の支配者であり、神さまの愛の具現化された姿であり、この世の全てであると信じ、その手の中で生きようとするからである。弱い者が、声なく去っていった者の声として、キリストの平和を告白しながら生き続けるのである。

その告白を具体的な形で生きた時、私たちは混沌の闇を照らすキリストを迎えることになる。在日大韓基督教会が、闇を照らしてくださるイエス・キリストにのみ従う者としてある時、混沌の中に生きる者に示された使命と希望を分かち合う群れとなることが許され、喜びと希望を証し続けることができるのである。

韓国女性長老連合会が訪日

タチソなど苦難の現場を訪問



11月24・25日、大韓イエス教長老会、基督教大韓監理会、韓国基督教長老会の女性長老が結集して創設された「韓国女性長老連合会」の会員33名が訪日し、

全国教会女性連合会との交流が行なわれた。この訪日の目的は、在日同胞や同胞教会、女性会の現実を知り、信仰のシスターフッドによる連帯と支援を目的と

24日は、大阪の高槻市にある「タチソ」(高(タ)根(チ)下(ソ)倉)にある、地(チ)下倉(ソ)庫を訪れた。タチソは、1944年に「本土決戦」を想定し、軍事施設、軍需工場を山間部に移転するため、強制連行や徴用された朝鮮人がトンネルを掘らされ、多くの犠牲者を出した苦難の現場である。戦後に同胞が集中して定着したが、地元住民による土地の返還要求、上下水道の不備、風水害などの劣悪な環境が整備され、決着したのは1985年以降で、「ウトロ」(京都府宇治市の在日集住地域)と同様の問題を抱えた地域だ。

女性長老の方々は高齢にもかかわらず、「ここまでの来たのに、その苦難の現場を見ずには帰れない」と、危険をかえりみずトンネルに入り、同胞の恨が解ける

ことを静かに祈った。ちょうど韓国のテレビ局の取材があり、その様子をカメラが追いかけていた。午後、大阪教会に場所を移し、大阪教会と関西女性会との心のこもった接待を受けたが、なかなか雰囲気交流が持たれた。ここでは全国女性会による「在日同胞の過去、現在、未来」という発題があり、在日同胞社会に仕える教会の使命と共に、女性会の課題である在日大韓教会の変革、特に女性のリーダーシップ養成、男女共同参画、女性長老立などの課題を共有した。今後の在日大韓基督教会における「女性長老連合会」発足と組織化、また、現在、全国女性会が推進している「女性のための電話相談・セッティング」に對して、母国の女性長老連合会から大きなエールをいただいた。

その夜の水曜祈祷会では、大阪教会の鄭然牧師から今回の交流会にあふさわしいメッセージをいただいた。引き続き宋富子長老による「愛する時、奇跡は創られる」という一人芝居を観賞した。見終わった後、そこで語られた、在日同胞の差別の現実、今では「DV」と呼ばれる、在日女性特有の苦しみ、身世打撃、そして信仰の証に大きな拍手が沸き起こった。

これまで、在日同胞の歴史や現状が、周囲の日本社会以上に、母国の同胞や教会にむしろ知られていないのがゆきを感じたことも多かった。しかし、今回の来日で4度目となり、九州、大阪、新潟の各地をめぐり、在日同胞の苦難や、日韓交流史を目で見ることで、この「高麗博物館」の支援など、熱心に活動を重ねてきた「韓国女性長老連合会訪問団」の方々の熱い思いに

より、受け入れ側の私たちも、多くの励ましと希望をいただいた。

組織の規模や人材、体力など、とうてい比較にはならないが、今後もこの交流を継続することで、在日大韓基督教会や女性会の活動に、母国の女性会のパワーやダイナミズムを参考にし、びりつとした「コチュジャン」のような刺激と覚醒を促したいと願う。

(報告・徐貞順)

新潟中越地震義捐金の
の ぶ たく だん 金

昨年11月に、新潟県中越地方で発生した新潟中越地震被害者に対する義捐金を募集した。この募金は、新潟県中越地震被害者に対する義捐金を募集した。この募金は、新潟県中越地震被害者に対する義捐金を募集した。

義捐金振込先郵便口座
001300915922
加入者名：在日大韓基督教会総会
※お振込時に「新潟中越地震募金」と明記して下さい。

み言葉と共に歩むことは、素晴らしい!

2005年
日めくり聖句カレンダー

長年の宿題でありました4カ国語(韓国語・日本語・英語・中国語)の「日めくり聖句カレンダー」が、ようやく完成しました。1冊はご自分用に、そしてもう1冊はプレゼントに用いられれば幸いです。聖句カレンダーは、掲げているだけで福音が宣べ伝えられます。

- ◆1冊1500円(税込・送料別)
※10冊以上ご購入の場合は送料無料
- ◆お問合せ先：みことば企画(電話:086-222-8297)

2004クリスマス特別企画

韓日対照聖書・讃頌歌
セット 期間限定販売

期間：2004年11月1日～2005年1月31日

セット価格：4,000円(税込・送料別)

※売り上げの10%は、日本ろう福音協会と日本聖書協会が進めている手話訳聖書の製作のために捧げられます。

●申込みは、在日大韓基督教会総会事務所に

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)

三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

東京総会神学校コラム

「在日の中での伝道の使命」

3学年 新井由貴



私は、クリスチャン。ホームに育った在日3世です。2004年3月にルーテル学院大学文学部神学科キリスト教とカウンセリング・コースを卒業し、宗教科の教員免許を取得しました。

神学を学ぶ必要性を強く感じ始めたのは、大学4年生の時の教育実習を終えた頃からです。現在、日本には、アイデンティティ危機に直面している子どもたちがたくさんいます。その子どもたちに福音を伝えていかなければならないと実感したのです。神さまの導きで、大学卒業後、総会神学校へ編入しました。

新約聖書フィリピの信徒への手紙4章13節に、「わたしを強めてくださる方がお陰で、わたしにはすべてが可能です」という御言葉

が、総会神学校では先生方が、お忙しい中、私たち学生のために指導してくださっています。神学を学ぶの特権を与えられている喜びを日々実感しています。学生は少ないですが、少数を

い、との内容の力強いメッセージであった。

第2部では、讃美と聖句暗唱大会を行った。各教会が競い合って例年より一層レベルアップしたすばらしい讃美がなされ、愛賞、希望賞、信仰賞などの賞が各教会に与えられた。審査中に豊橋教会の青年によるゴ

教案(教会学校シリーズ)についてのお知らせ

私たちが在日大韓基督教会の教案は、15年間にわたって教会学校シリーズとして56号まで発行してきました。この度、さまざまな理由(最も大きいのは経済的理由)で、一旦休刊することになりました。しかしこれは廃刊ではなく、あくまでも休刊です。もう一度、目標・内容・意義の検討をしていかなければなりません。人材の少ない中で、いかにCS教師のニーズに添えていけるのか、しばらくはそのことを模索します。そして近い将来、新しいアイデアで、復刊していきたいと願っています。

その間、単発的に「在日大韓基督教会の教会暦・行事」、「夏期学校教案」、「特別行事」(アドヴェント・クリスマス、レント・イースター、感謝祭、ペンテコステなど)のうちから1年に最低1〜2回、発行していきたいと計画しています。

(呉寿恵 教育主事)

한국전통식품제조

백설처럼 하얗고 쫄깃합니다.

珍味 **쌀떡국·쌀떡볶이**
고소하고 진한 맛이 자랑입니다.

珍味 **참기름·볶음참깨**
한국전통의 참맛을 전하는 기업

製造元: 株式会社 世珍物産
東京都足立区南花畑4-8-4

각종 한국식품 도매 판매 합니다

TEL (03) 5831-3830 FAX (03) 5831-3823
www.korealand.jp

『外国人住民基本法の制定に向けて』

外基協ビデオ・シリーズ 第1巻・2004

外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会(外基協)では、「外国人住民基本法(案)」の内容をわかりやすく伝えるために、ビデオを制作しました。ビデオを活用していただき、外基法の制定の必要性和その意義の共有を広げてください。

◆カラー20分、1000円(送料含む)
◆問合せ先: 外基協事務局
(03-3203-7575: RAIK)

海外旅行はマイカーで

自宅⇄空港の移動は絶対オススメです

有限会社 聖永商事
免税店 聖永商事
関西国際空港駐車場
デリバリーパーキング関空
VIPカーデリバリ関空

会長 禹永吉(関空伝道所 長老)
代表取締役社長 禹辰磨(関空伝道所)

本社: 〒598-0045 大阪府泉佐野市松原2-5-6
TEL.0724-64-3719 FAX.0724-64-3503
フリーダイヤル: 0120-69-0775
E-mail: seiei@startpage.co.jp

ドイツ・プロテスタント教会 2005年度 奨学金

◆目的: ドイツでの学問的研究、エキューメンカルな働き人の養成など

◆募集人員: 若干名

◆応募資格: 神学・キリスト教学(その他関係諸学)の大学院修士課程(博士課程前期)を修了している者、およびそれと同程度以上の学力を有する者

◆奨学金支給期間: 2005年10月〜2006年7月(ドイツまでの往復旅費は含まず)

◆書類提出の締切日: 2005年1月20日

◆提出書類などの問い合わせ・申込先: NCCドイツ教会関係委員会(担当: 真野玄範) ☎03-3203-0372

愛三グループ

愛三産業株式会社
済州カントリー倶楽部

代表取締役社長 白一善

本社 東京都墨田区江東橋4-6-4 TEL (03) 3633-7477(代)
済州C・C 韓国済州市寧坪洞2238-2 TEL (064) 702-0451(代)
ソウル事務所 韓国ソウル特別市鍾路区内需洞167 TEL (02) 739-3327(代)



中部地方会が合同礼拝

10月31日、名古屋教会において、宗教改革第487周年記念礼拝が、韓国の徳守教会から孫寅雄牧師を招いて捧げられた。中部地方会、名古屋、長野、豊橋、岡崎、名古屋、名古屋南、岐阜の7教会と一宮、四日市、豊田めぐみ、愛隣の4伝道所にいたる参加の中、例年どおりの記念礼拝と聖句暗唱、讃美大会を持つことができた。

第1部の礼拝は、権潤日牧師司会のもと、朴茂樹牧師の祈禱につきき、孫寅雄牧師による「更新を超えて一致へ」(エフエソ4・1〜6)と題してのメッセージを拝聴した。キリスト者にとって、たえず新しくされることは重要なことであり、その要素は改革、更新、復興の三つである。改革という大義名分のために教会



金再龍名誉長老が召天

岐阜教会で厳かに葬礼式挙行

葬儀は、11月24日に岐阜教会にて、金桂英牧師の司式により行われた。

故金再龍長老は、1911年2月14日、韓国慶尚北道義城郡にて出生。29年に渡日し、名古屋に居住。解放後は岐阜に移転し、53年

再龍名誉長老が急性呼吸不全により自宅で天に召された。享年94歳。

金再龍長老は、1911年2月14日、韓国慶尚北道義城郡にて出生。29年に渡日し、名古屋に居住。解放後は岐阜に移転し、53年

総幹事活動日誌

●会議・集会

○総会役員会・人事部会
日時: 11月15日
場所: 大阪教会

○NCC常任常務員会
日時: 11月18日
場所: 日本キリスト教会館会議室

○弁護士2人とソウル出張
日時: 11月19〜24日

○在日同胞各界有志者の集い
日時: 11月27日
場所: 中央大学駿河台記念館

○日北米宣教協力会(JNAC)日本委員会
日時: 11月30日
場所: JNAC会議室

●説教・講義

○日本キリスト教会神学校
日時: 11月5日

○つくば東京教会
日時: 11月7日

い、との内容の力強いメッセージであった。

第2部では、讃美と聖句暗唱大会を行った。各教会が競い合って例年より一層レベルアップしたすばらしい讃美がなされ、愛賞、希望賞、信仰賞などの賞が各教会に与えられた。審査中に豊橋教会の青年によるゴ

◆外基協全国集会を開催
1月22日부터大阪KCC
에서 外基協의 第18回全国
協議會가 開催되었다. 1.
24全国集会는 캐톨릭大阪
카테도랄聖마리아聖堂으로
 옮겨 여러 国籍의 400
名이 모여 外國人이 살기
 좋은 社會는 日本人도 살
 기 좋다"는 標語의 重要
性을 認識하는 集会였다.

◇宣敎協約締結 七周年 記念集會를 開催
 4月25日(日) 日本 그리스도교회와 宣敎協約 七周年 記念集會를 柏木教會에서 開催하였다. 多樣성과 平和라는 主題로 久保義宣牧師의 說敎, 菊地純子氏의 世界改革敎會連盟總會準備報告, 朴春吉牧師, 芳賀繁浩牧師의 發題가 있었다.

◇**全国高校生夏期学校**
山梨県河口湖에서 8월 1일부터 4日間 全国高校生夏期学校가開催되어 7名이参加하여 青年들의 프로그램에 함께 同参하면서 좋은交流의時間을가졌다. 사흘째 날에는映画鑑賞과 基督教敎를생각하는 独自の인 討議의時間가졌다.

●9月1日・日本国籍がな
いことを理由に東京都の管
理職試験の受験を拒否され
た在日二世の保健師・鄭香
島さんの裁判で、最高裁第
三小法廷は、審理を大法廷
に回付。東京高裁は199

●9月28日…1945年8月9日に長崎で被爆し釜山に住んでいた崔季徹さんが

10月4日…第二次大戦中、日本軍に強制徴用された韓国人軍人・軍属で、「脱走して光復軍や中国軍などに参加」の名簿が韓国で公開される。これは、日本軍関係者がまとめたもので、敗戦直前の1945年4月時点で「脱走者」16万人の氏名、生年月日、本

いい」「資格がないのに働いて」として、昨年1年間だけで52万3617人の外国人が強制収容された。その中には難民申請者も、学校に通う子どもも、高齢者も、妊婦も。若手弁護士や市民団体が「不必要な強制収容をしない日本を、一日でも早く!」と呼びかけ、市民600人が法務省を囲

るが、新潟県教育委員会
は、来年度の高校入試から
外国人学校生の受験資格を
認めると発表。

●10月29日…日本とフィリ
ピンの政府間で行われてい
る自由貿易協定をめぐる交
渉で、フィリピンからの看
護師・介護士の受け入れに
ついて大枠を合意。200
6年から受け入れ開始。